

弓浜地区コミュニティバスの運行について

1 取組状況

令和6年10月から実証運行を開始したよねぎーバスについては、これまでいただいた地域からのご意見を踏まえ、令和7年10月20日にルート変更を実施しました。

このルート変更により、「崎津農協前」、「和田八区団地前」、「ひまわり河崎店前」など16のバス停を追加し、利便性が向上しています。



2 今後の予定

現在、よねぎーバスの本格運行で使用する車両の準備を進めており、今年度中にバス2台体制による両回りでの本格運行を開始する予定です。本格運行では、30分間隔の運行となり、また、こどもや高齢者等の乗降がしやすい車両となるので、利便性がより向上します。

また、よねぎーバスは、義務教育学校開校後はスクールバスとしての活用を想定しています。運行開始前の登校時間帯は当該車両をスクールバスとして活用し、また、下校時間帯の対応については、引き続き教育委員会と検討していきます。

【本格運行の車両イメージ】



- ・車種：日野ポンチョ（小型ノンステップバス）
 - ・規格 ショートボデー（1ドアタイプ）
 - ・全長 6.29メートル
 - ・乗車定員 27人
- ※親しみやすいラッピングも検討

第 6 回 教育環境部会報告

- 1 開催日時 令和 7 年 1 2 月 1 8 日（木） 午後 7 時から午後 8 時 3 0 分
- 2 会 場 米子市立和田小学校 図書館
- 3 報 告
 - (1) 弓浜地区コミュニティバスの運行について(交通政策課)
 - (2) 事業の進捗状況について（こども政策課）
 - (3) 第 1 1 回開校準備委員会報告（太田部会長）
- 4 事務局説明
 - (1) 通学に関する検討の進め方について
 - ・バス通学については、徒歩通学における「安全面」「防犯面」「環境面」の視点で検討を行うことで、バスという支援策が必要な児童の範囲が明確になる。
 - ・今後はバス通学の検討と併せて、通学路の検討についても並行して行っていくこととする。
 - (2) 通学路の決定までの流れについて
 - ・義務教育学校の通学路は既存校の手順に準じ、保護者・地域の役割を教育環境部会が担い、学校の役割を教育委員会（事務局）が担う。
 - ・徒歩通学について優先して検討し、その後に中学生の自転車通学について検討する。
- 5 議 事
 - (1) 義務教育学校の通学について
 - ア 義務教育学校の通学路について（グループ協議）
 - ・事務局より通学路検討のポイント及び義務教育学校の通学路の事務局案について説明をし、これを基にグループ協議を行った。
 - ・事務局案に賛同する通学路もあるが、現時点で判断が困難な箇所もあった。部会員が新たに考えた通学路も含めて、現地調査で確認していく。
 - イ 現地調査について
 - ・今回検討された通学路について、「安全面」「防犯面」「環境面」の視点から設定した検討ポイントに照らし合わせながら各校区の部会員で確認を行う。
 - ・現地調査を踏まえ、第7回教育環境部会では通学路(仮部会案)を作成していく。

【参考】現地調査の日程

崎津小学校区	令和8年1月14日(水)	予備日1月15日(木)
大篠津小学校区	令和8年1月28日(水)	予備日1月29日(木)
和田小学校区	令和8年1月19日(月)	予備日1月21日(水)